



—西日本防災システム

2019 04

製品安全センター 発表

NBS 119

NITE・製品安全センターは、スマートフォンなどの充電ケーブルに関わる事故事例を発表しています。

- ①充電中のスマートフォンから異臭が発生、充電ケーブルと接続部周辺が焦げ、指に火傷。コネクタ一部に付着していた導電性の異物がショートして異常発熱し、外郭樹脂が熱により溶解した。取扱説明書には、「火災の原因となるため、外部接続端子に水やペットの尿などの液体を付着させない」旨が記載。
- ②充電ケーブルを電源に接続し、コネクタ側には何も接続せず放置したところ、充電ケーブルや周辺を焼損。使用者の接触などの外力により、充電ケーブルのコネクタ内部にあるコネクタピンが変形。そのため、ショートやスパークが発生し、コネクタ樹脂が焼損した。
- ③髪を拭いたタオルを枕の上へ乗せて就寝したところ、電源に接続された充電ケーブルのコネクタがタオルの下にあり、顔に化学やけどを負った。充電ケーブルは、コネクタピンが露出した構造であったため、汗等が付着した際の電気分解により、強酸もしくは強アルカリが生成され、化学やけどに至ったと考えられる。取扱説明書には「コネクタの上に寝ない」旨が記載。

少しの注意で防げる事故もあるようです！ どうか慎重に！ 丁寧に！



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>

弊社top pageへ 